

美 術

開隆堂出版
光村図書出版
日本文教出版

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名		
		9 開隆堂	38 光村	116 日文
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫 別表1	1年を1冊（71ページ・11題材）、2・3年を1冊（127ページ・22題材）の合計2冊で構成している。 各題材において、題材を通して身に付けたい資質・能力を3つの目標として整理し、生徒に分かりやすく示している。 表現活動を含む題材では、1題材見開き4ページを基本とし、鑑賞活動の充実を図り、作家作品を大きな図版で掲載している。 「作家作品の鑑賞」から「知識や技能の習得」、「発想や構想のサポート」、「振り返り」までの授業展開を意識し、表現と鑑賞の一体化を図り構成している。	1年を1冊（69ページ・19題材）、2・3年を1冊（107ページ・24題材）の合計2冊と、1年の別冊「資料」（35ページ）で構成している。 各題材において、題材を通して身に付けたい資質・能力を3つの目標として整理し、生徒に分かりやすく示している。 表現活動を含む題材では、1題材見開き2ページを基本としつつ、4、6、8ページの題材ページがあり、多彩なページ構成になっている。 4ページ構成の題材では、「作家作品の鑑賞」から「表現」、「題材のまとめとなる鑑賞」で授業が組み立てられるようになっており、表現と鑑賞の一体化を図り構成している。	1年を1冊（75ページ・18題材）、2年を2・3年上（65ページ・17題材）、3年を2・3下（61ページ・15題材）の合計3冊で構成している。 各題材において、題材を通して身に付けたい資質・能力を3つの目標として整理し、生徒に分かりやすく示している。 表現活動を含む題材では、1題材見開き2ページを基本とし、豊富な数の題材を掲載している。 「鑑賞の入り口」「造形的な視点」を基に「鑑賞」「表現」、お互いの作品の「鑑賞」の流れで授業が組み立てられるようにしつつ、表現と鑑賞の一体化を目指した多様な授業展開ができるよう構成している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表2	題材ページに「知識・技能」の小見出しを付け〔共通事項〕に沿った活動を提案し、先生のキャラクターが〔共通事項〕を基にした具体的な学習のポイントを示している。 各巻末の「学びを支える資料」は題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料についての知識、美術史の資料などを示している。 題材ページにおいて、各題材で必要な知識や技能を図版や「美術の用語」で、分かりやすく提示している。	題材ページに「POINT」を設け、作品の鑑賞を深めることができるよう、〔共通事項〕を意識できる問いかけを示している。 別冊「1年資料」に〔共通事項〕や色彩の基本、技能に関わる資料を掲載している。 2・3年の「学びを支える資料」では、美術史の資料などを掲載するとともに、関連する題材ページに「1年資料」へのリンクを示している。 4ページ構成の題材ページでは、「みんなの工夫」を設け、制作過程を詳しく示している。	題材ページに「造形的な視点」を設け、各題材で注目させたい〔共通事項〕や考えさせたい効果などを提示している。 各巻末の「学びを支える資料」は題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料についての知識、美術史の資料などを示している。 題材ページの「表現のヒント」で技能面の補足をしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表3	全題材において鑑賞活動を設定し、鑑賞活動で注目するポイントが示され、見方や感じ方を深められるよう配慮している。 全題材において、発想・構想の手立てとなるよう、掲載作品に合わせ「作者のことば」やアイデアスケッチ、生徒の活動写真などを掲載し、作品がどのような発想・構想で生まれたかについて学べるようにしている。 生徒のキャラクターを登場させ、気付いたり思いついたりするヒントを生徒の視点で示している。 各巻末の「学びの資料」に「発想・構想」や「鑑賞」の参考となる内容を提示している。	全題材において鑑賞活動を設定し、対話を促すような問いかけが示され、見方や感じ方を深められるよう配慮している。 4ページ構成の題材ページでは「みんなの工夫」を設け、発想・構想の手立てとなるよう、実際に中学生が試行錯誤しながら制作に取り組む様子や「作者の言葉」、アイデアスケッチを紹介している。 全題材の「鑑賞」「表現」のそれぞれの項目において、着眼点や話し合いのポイント、制作のポイントなどを細かく提示している。 「発想のしかたはさまざま」「発想・構想のために」というページを設け、多様な発想の方法を紹介している。	全題材において鑑賞活動を設定し、「鑑賞の入り口」に鑑賞する際の主発問となる問いかけを示し、見方や感じ方を深められるよう配慮している。 表現活動を含む題材ページでは、「表現のヒント」を設け、発想や構想の手立てとして、生徒の活動写真やアイデアスケッチ、ワークシートなどを掲載している。 「造形的な視点」で着目してほしい点を吹き出し形式で示し、「造形的な視点」を手がかりに考えることができるようにしている。 巻末に「発想・構想の手立て」を示したページを設け、生徒の活動に対するヒントを示している。

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名		
		9 開隆堂	38 光村	116 日文
2 内容や構成が習指導を進める上で適切であること	別表3	生徒作品と合わせて「作者のことば」を掲載し、言語で自らの造形表現や考えを表すことの重要性が理解できるよう配慮している。	生徒作品と合わせて「作者の言葉」を掲載し、言語で自らの造形表現や考えを表すことの重要性が理解できるよう配慮している。	生徒作品や作家作品と合わせて「作者の言葉」を多数掲載し、言語で自らの造形表現や考えを表すことの重要性が理解できるよう配慮している。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	各巻頭には美術を学ぶ意味や態度について考えるページを設定し、巻末には各学年と中学校美術科の学習を振り返り、自らの成長を確認することができるよう構成し、次の学びにつなげられるよう工夫している。 生徒にとって親しみを感じられる作品を数多く掲載することで、身近なものや美術文化のつながりを示すとともに、主体的な学習を促し、深い学びを実現しようとしている。 デザイン・工芸の分野では、表現や鑑賞を行う題材を中心に、生活の中の造形や美術の働きを実感させる内容を取り上げている。	「心の中の風景を表す」「空想の世界へようこそ」などと、「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」の双方において、互いの関連を示し、次の学びにつながる視点が持てるよう工夫している。 別冊資料の「どうやって描く?」「どんな材料でつくる?」において、どのような道具や材料を使うか、生徒が主体的に考えることのできる紙面が設定されており、自ら課題を見つけて学びを深められるよう工夫している。 デザイン・工芸の分野では、表現や鑑賞を行う題材を中心に、生活の中の造形や美術の働きを実感させる内容を取り上げている。	2.3下「社会に生きる美術の力」などにおいて、3年間の美術の学習を振り返り、美術で身に付けた力を人生において様々な場面で生かすことができることを示し、主体的に学ぶことができるよう工夫している。 題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設けることで、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出して、探究的に学習を深められるよう工夫している。 デザイン・工芸の分野では、美術の働きを実感できる、家庭や地域社会に結び付いた事例を取り上げている。
	別表4	デザイン・工芸の分野では、表現や鑑賞を行う題材を中心に、生活の中の造形や美術の働きを実感させる内容を取り上げている。	デザイン・工芸の分野では、表現や鑑賞を行う題材を中心に、生活の中の造形や美術の働きを実感させる内容を取り上げている。	デザイン・工芸の分野では、美術の働きを実感できる、家庭や地域社会に結び付いた事例を取り上げている。
(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	別表5	現代的な諸課題（SDGs、環境、伝統文化、地域等のつながりなど）に対応する題材を多く掲載し、SDGsに関わる内容にはマークなどで分かりやすく生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取組を促すよう配慮している。 「つながるデザイン」において、インクルーシブな社会に向けて取り組まれている活動を鑑賞するページを設け、人と人がつながるデザインに関心が持てるよう工夫している。	現代的な諸課題（SDGs、環境、地域文化・伝統文化、防災教育、人権教育、多様性など）に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取組を促すよう配慮されている。 多様性をテーマにした作品を掲載することで、他人を思いやる人間性が育まれるように配慮している。	現代的な諸課題（SDGs、環境、防災・安全、多文化共生、伝統文化、AIや最新技術の扱い、平和・人権など）に対応する題材を多く掲載し、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取組を促すよう配慮している。 「使う人の立場で考える」「デザインの力でできること」などの題材を通して、他人を思いやる人間性が育まれるよう配慮している。
	(5) 他の教科等との関連	他教科や特別活動（文化祭や体育祭）との関連を図った題材が設定されている。 特別の教科 道徳との関連を図った題材を設定している。 1年オリエンテーションで、図画工作科で学んだことを振り返り、美術科の学習に対して意欲を高められるように、図画工作科と美術科のつながりを示している。 キャリア教育の視点から、デザイナーや美術に関わりのある職業で活躍する人物のコラム等を取り上げている。	3年間で全教科と関連するよう題材が設定され、「他教科とのつながり」を示すピクトグラムとともに解説を掲載している。 特別の教科 道徳とのつながりについては題材に関連する、道徳の内容項目を示している。 1年オリエンテーションで、美術科の学習に対して意欲を高められるように、図画工作科と美術科のつながりを示している。 キャリア教育の視点から、作家やデザイナーなどの美術に関わりのある職業で活躍する人物コラム等を取り上げている。	他教科との関連を図った題材が設定されている。 特別の教科 道徳と深く関連する題材には、道徳と関連した「めあて」を題材紙面の下部に明記している。 1年オリエンテーションで、美術科の学習に対して意欲を高められるように、図画工作科と美術科のつながりを示している。 キャリア教育の視点から、美術の専門家だけでなく、シンガーソングライターなどのコラムや題材を取り上げている。
別表6	キャリア教育の視点から、デザイナーや美術に関わりのある職業で活躍する人物のコラム等を取り上げている。	キャリア教育の視点から、作家やデザイナーなどの美術に関わりのある職業で活躍する人物コラム等を取り上げている。	キャリア教育の視点から、美術の専門家だけでなく、シンガーソングライターなどのコラムや題材を取り上げている。	

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名		
		9 開隆堂	38 光村	116 日文
3 使用上の便宜が工夫されていること。	表記・表現の工夫	<p>取り上げられている美術作品は、1年150点、2・3年333点で国内外問わず多彩・多様な作品が取り上げられている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントの採用、文章を意味のまとまりごとに改行し、中学校以上で習うすべての漢字にルビ記載、図版番号の掲載を行うなど、特別支援教育に配慮している。</p> <p>色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、色彩ページの彩度と明度を示す図では、視覚特性を持つ人も認識しやすい黄色を採用している。</p> <p>印刷インキのぎらつきを抑えながらも発色の鮮やかな用紙と、作品のニュアンスや質感の再現が図られている。 大判の図版で見やすい。</p> <p>表紙に作品の質感や筆跡を再現した加工を施し、触って作品の質感が想像できるよう工夫している。</p> <p>鑑賞の題材において見開きのページを設定し、図版を大きく掲載し見やすくなるよう工夫している。</p> <p>二次元コードからコンテンツが視聴でき、進度に合わせた個別最適な学びに対応している。また、協働的な学びにも活用できる内容になっている。</p> <p>二次元コードから「題材の導入動画(全題材)」「全国の生徒作品」「用具や技法」「180° 作品写真」などを見ることができる。</p> <p>二次元コードから「アイデアシート」「鑑賞シート」「振り返りシート(全題材)」をダウンロードして使うことができる。</p>	<p>取り上げられている美術作品は、1年189点、2・3年231点で国内外問わず多彩・多様な作品が取り上げられている。</p> <p>文字がやや小さくなる場合はユニバーサルデザインフォントを採用し、図版と図版の間を空けたり罫線を引いたり、境界を明確に区別できるようにし、特別支援教育に配慮している。</p> <p>色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、色相環には色の名前を入れている。</p> <p>図版や文字が鮮明に印刷できる発色のよいコート紙が使われており、本物の色の再現が図られている。 大判の図版で見やすい。</p> <p>「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」において、16ページにわたって風合いのある用紙を使用し、鑑賞活動が深まるように工夫している。</p> <p>鑑賞の題材において見開きのページを設定し、図版を大きく掲載し見やすくなるよう工夫している。</p> <p>二次元コードからコンテンツが視聴でき、進度に合わせた個別最適な学びに対応している。また、協働的な学びにも活用できる内容になっている。</p> <p>二次元コードから「用具や技法」「全国の生徒作品」「360° 作品写真」「鑑賞が深まる解説動画」「作家・作品関連動画」「美術史用語」「47都道府県の地域の作品」などを見ることができる。</p> <p>二次元コードから「書き込みツール&高精細画像」「360° 作品写真」など見方が深まる鑑賞用コンテンツや思考ツールなど使うことができる。</p>	<p>取り上げられている美術作品は、1年178点、2・3年上158点、2・3年下276点で国内外問わず多彩・多様な作品が取り上げられている。</p> <p>ユニバーサルフォントの採用、図版番号の掲載、行間や文字色、背景色とのコントラスト、作品番号の掲載など、特別支援教育に配慮している。</p> <p>色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、色彩ページの彩度と明度を示す図では、視覚特性を持つ人も認識しやすい黄色を採用している。</p> <p>コート紙とマット紙を使い分けて、美術作品のニュアンスや材質感、色彩の再現が図られている。 大判の図版で見やすい。</p> <p>「屏風、美のしかけ」において、見開きの紙面を折って屏風の構造を再現することで、奥行きなどの見え方がどのように変わるか、鑑賞できるよう工夫している。</p> <p>鑑賞の題材において見開きのページを設定し、図版を大きく掲載し見やすくなるよう工夫している。</p> <p>二次元コードからコンテンツが視聴でき、進度に合わせた個別最適な学びに対応している。また、協働的な学びにも活用できる内容になっている。</p> <p>二次元コードから「題材の導入動画(全題材)」「用具や技法」「360° 作品写真」「全国の生徒作品」「作家・作品解説動画」などを見ることができる。</p> <p>二次元コードから「学びを深めるアプリケーション」や鑑賞用のワークシート、シンキングツールを使うことができる。</p>
	別表7			

別表 1

調査項目				発行者名						
				9 開隆堂		38 光村		116 日文		
				【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	
学習指導要領に示す目標に従い、内容が適切に取り上げられているか。 造形的な見方・考え方を働かせて資質・	内容のまとまりごとに取り上げられている題材	表現の活動を含む題材	感じ取ったことや考えたことを基に、絵や彫刻などに表現する活動	描く ◇描く題材 ■つくる題材としても扱える題材	◇スケッチブックから広がる ◇その人らしさが大切 ◇形と色彩の響き合い ◇木版画の面白さ	◇私が見つめた風景 ◇自分と向き合う ◇私がイメージする世界 ◇墨から生まれる ◇写して 見つけて ◇物語だから動かしたい	◇見つめ、感じ取り、描く ■その人らしさを捉える ◇心ひかれるこの風景 ◇墨で表現する楽しさ ◇響き合う形と色 ◇写真を撮る楽しさ	◇心の中の風景を表す ■空想の世界へようこそ ◇あれ？どうなっているの ■今の自分、これからの自分	◇見つめて、感じて、描いて ◇なぜか気になる情景 ■人間っておもしろい ◇刷って楽しむ版画の世界 ◇墨と水が描く世界	【上】 ◇自由な視点で風景を見つめる ◇写真表現の魅力 ◇筆と水で多彩に表す 【下】 ■わたし自身を見つめて ◇芸術としての漫画表現 ■空間の中の不思議な世界 ◇光に気持ちを込めて
			目的や機能などを考え、デザインや工芸などに表現する活動	描く ◇描く題材 ■つくる題材としても扱える題材	◇構成の美しさ ◇イメージを伝える形	■世界観や魅力を伝える ◇ひと目で伝える表示 ◇目にとまる 心にとまる ◇伝えたいメッセージ	◇印象に残るロゴマーク ◇暮らしをいろどる文様	◇メッセージを伝える ◇わかりやすく情報を伝える ■地域の魅力を表すパッケージ	◇つなげて広がる模様の世界 ◇文字が生み出すイメージ ◇形や色で伝えるシンボルマーク ◇見るひとへ楽しく伝えよう	【上】 ◇ひと目で伝わる ◇みんなのデザイン ◇その1枚が心を動かす ◇使う人の立場で考える 【下】 ◇自分を表現する色 ■魅力を伝えるパッケージ
			感じる	◇感じる題材 ■描く題材としても扱える題材	◇ずっと木といっしょに ◇炎と共に生きる	■生活を楽しく 心地よく ◇つくって体感 みんなで体験 ◇明かりと光	◇気持ちを伝えるデザイン ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし	◇季節感のある暮らし ◇あかりがつくる空間	◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしを彩る土の造形	【上】 ◇日本の技と心を受け継いで ◇思いが飛び出すカード ◇空間を彩る光の装飾 ◇つくる・使う・材料を味わう工芸 【下】 ◇思いを込めた卒業記念品 ◇住み続けられる町づくり

調査項目		発行者名								
		9 開隆堂		38 光村		116 日文				
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】			
学習指導要領に示す目標に従い、表現や鑑賞の幅広い活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせて資質・能力が育成できるように、内容が適切に取り上げられているか。	内容のまとめりに取り上げられている題材	鑑賞の活動の題材	美術作品などに関する鑑賞	感じ取ったことや考えたことを基にした表現に関する鑑賞	(学びの資料) ◆鑑賞ってなんだろう	◇印象派の表現の広がり ◇怒り、悲しみ、叫びのゆくえ (学びの資料) ◆奥行き表現 ◆量感表現 ◆世界遺産と美術	◇[体感ミュージアム]「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう ◇版の表現を味わう(学習を支える資料) ◆美術鑑賞を楽しむ手がかかり	◇[体感ミュージアム]「明日の神話」を鑑賞しよう ◇環境とともに生きる彫刻 ◇漫画表現を楽しむ ◇[体感ミュージアム]「ゲルニカ」を鑑賞しよう(学習を支える資料) ◆仏像について知ろう	◇屏風、美のしかけ ◇絵の中にある物語(学習を支える資料) ◆火焰型土器【原寸大】	【上】 ◇現代美術にザワザワザワッ! 【下】 ◇あの日を忘れない ◇ルネサンスが目指したもの(学習を支える資料) 【上】 ◆岡本太郎“芸術はみんなのもの” ◆暮らしに息づくパブリックアート ◆北斎の大波 【下】 ◆さまざまなアートに触れよう ◆絵巻物の世界 ◆仏像の種類
			目的や機能などを考えた表現に関する鑑賞	◇目を見張る楽しさ	◇つながるデザイン	◇文字で楽しく伝える	◇印象に残る映像表現 ◇みんなのためのデザイン ◇防災のデザイン ◇形や材料で比べる	◇自然の美しさから生まれた		
		美術の働きや美術文化に関する鑑賞	美術の働きに関する鑑賞	(学びの資料) ◆展覧会をつくる ◆共に学ぶ美術 ◆持続可能な未来へ	(学習を支える資料) ◆美術館を楽しもう ◆芸術祭へ行こう	◇憩いの場をつくる(学習を支える資料) ◆美術の力	(学習を支える資料) ◆美術館へ行こう	【上】 ◇デザインの力でできること 【下】 ◇デザインで地域を豊かに		
	美術文化に関する鑑賞	◇江戸の美術の面白さ	◇時代と文化を超えて ◇仏像が表す世界 ◇文化を守り、育む(学びの資料) ◆美術史の扉	◇[体感ミュージアム]「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう ◇[体感ミュージアム]「火焰型土器」を鑑賞しよう ◇世界の仮面と出会う	◇[体感ミュージアム]「最後の晩餐」を鑑賞しよう ◇日本の絵画を楽しむ五つのキーワード ◇ゴッホと浮世絵(学習を支える資料) ◆美術史年表 ◆日本の伝統工芸 ◆北と南の民族衣装	◇原始の美に出会う旅 ◇祭りを彩る造形	【上】 ◇浮世絵っておもしろい ◇日本文化との出会い 【下】 ◇仏像の姿に見る人々の祈り ◇どこまで修復すべきか(学習を支える資料) 【上】 ◆日本美術と世界の美術の歩み 【下】 ◆美術文化の継承 ◆日本の世界文化遺産 ◆受け継ぐ伝統と文化			

調査項目	発行者名					
	9 開隆堂		38 光村		116 日文	
	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<p>うて、学習指導要領に示す目標に従って、造形的な見方を示す目標を達成させるか、表現や鑑賞の幅が育成できるよ</p> <p>「A表現」及び「B鑑賞」の相互の関連付けを図る配慮</p>	<p>◇表現の活動を含む題材においては、主に「作家作品の鑑賞」⇒「主題を生み出す発想や構想の明示」⇒「生徒作品例と作者のことば」の流れが踏襲されており、表現と鑑賞の一体化を図るとともに、作品制作への興味・関心を高めるよう工夫している。</p> <p>◇題材を通して身に付けたい資質・能力に関する目標が3つに分けて示されており、題材ごとの造形的な視点を意識しやすいものを取り上げている。</p> <p>◇掲載されている作家作品は、造形的なよさや美しさなどを味わい、美術や美術文化について、見方や感じ方を広げたり、深めたりする活動が促進されるようなものを選定している。</p> <p>◇生徒作品に「作者のことば」を合わせて掲載し、発想や構想、表現方法の手がかりとなるよう配慮している。</p> <p>◇作家作品に作者の考えや見方・考え方を合わせて掲載し、鑑賞が発想や構想につながるようになっている。</p>	<p>◇表現の活動を含む題材においては、主に「表現につながる作家作品の鑑賞」⇒「構想を練るための具体的な手立て」⇒「題材のまとめとなる作品の鑑賞」の流れが踏襲されており、自然に表現と鑑賞が一体化した授業を組み立てることができるよう、工夫している。</p> <p>◇題材を通して身に付けたい資質・能力に関する目標が3つに分けて示されており、題材ごとの造形的な視点を意識しやすいものを取り上げている。</p> <p>◇掲載されている作品は、表現活動につながるものが選定されており、合わせて対話が生まれるように鑑賞が深まる問いを示している。</p> <p>◇生徒作品に「作者の言葉」を合わせて掲載し、発想や構想、表現方法の手がかりとなるよう配慮している。</p> <p>◇作家作品に作者の考えや見方・考え方を合わせて掲載し、鑑賞が発想や構想につながるようになっている。</p>	<p>◇表現の活動を含む題材においては、「題材導入の二次元コードコンテンツの視聴」⇒「鑑賞の入り口の問いかけを軸に、教科書作品を鑑賞」⇒「表現のヒントを参照しながら構想を練る」流れが踏襲されており、豊富な関連作品の鑑賞から表現に活かすことで表現と鑑賞が一体化するよう工夫している。</p> <p>◇題材を通して身に付けたい資質・能力に関する目標が3つに分けて示されており、題材ごとの造形的な視点を意識しやすいものを取り上げている。</p> <p>◇掲載されている作品は、表現活動につながるものが選定されており、「造形的な視点」で着目させたい造形的な視点や考えさせたい効果等を提示している。</p> <p>◇生徒作品に「作者の言葉」を合わせて掲載し、発想や構想、表現方法の手がかりとなるよう配慮している。</p> <p>◇学びを支える資料「発想・構想の手立て①～②」において、アーティストや生徒の作品制作の様子から、制作のヒントとなる、発想・構想を助けるさまざまな手立てを掲載している。</p>			

別表2

調査項目		発行者名					
		9 開隆堂		38 光村		116 日文	
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
造形的な視点を豊かにするための必要な知識として整理された〔共通事項〕については、生徒が多様な視点から実感的に理解できるよう配慮されているか。	[共通事項]の内容についての記述	◇各題材において、学習をサポートするキャラクターによる「具体的な学習のポイント」を、共通事項を意識させる、学習の手がかりとして示している。		◇各題材において、作品の鑑賞を深めることができるよう、共通事項を意識できる問いかけを「POINT」として示している。		◇掲載作品に「造形的な視点」を合わせて示し、題材に合わせた共通事項に向けた意識や、考えさせたい効果等を提示している。	
技能については、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう配慮がされているか。	材料・用具・技法についての記述	<p>◇その人らしさが大切</p> <p>◇木版画の面白さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木版画の技法を知ろう <p>◇ずっと木といっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音が出る木のおもちゃを工夫して作ろう <p>◇炎と共に生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の順序を考え、見通しをもってつくろう <p>(学びの資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆文字のデザイン ◆色彩と光 ◆用具を知って使ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の使い方 ・絵の具の使い方 ・絵具の色々な表し方 ・彫刻刀の使い方 ・焼き物の成形のしかた ・電動糸のこぎりの使い方 <p>※制作に関わる基本的な用具の使用方法を記載している。</p>	<p>◇墨からうまれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水墨画の表現方法 <p>◇写して見つけて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライポイントの技法 ・コラグラフの技法 <p>◇物語だから動かしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションの動きや形の変化、場面の転換によって、物語を表そう <p>(学びの資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆奥行き表現 ◆量感表現 ◆余白の美 ◆紙の表現 ◆これってどう撮るの？ ◆日本の伝統色 <p>※表現活動に関わる様々な技法を関連作品の紹介等と合わせて記載している。</p>	<p>◇墨で表現する楽しさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな墨の効果を試して、自分なりの表現を見つけよう <p>資料(別冊)</p> <p>【描く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆どうやって描く？ ◆鉛筆で描く ◆水彩絵の具で描く ◆アクリル絵の具で描く <ul style="list-style-type: none"> ◆さまざまな描き方 ◆版画で表す ◆文字をデザインする ◆端末を活用する <p>【つくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆どんな材料でつくる？ ◆紙でつくる ◆粘土でつくる ◆木でつくる ◆金属でつくる ◆石でつくる <p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆写真を撮影する <p>【映像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆映像を制作する <p>【形・色・光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自然の中の形・色・光 <p>【色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆色の世界に出会う ◆色の特徴 ◆色の効果と配色 ◆日本と世界の伝統色図鑑 <p>※画材用具の基本的な使用方法から応用的な技法まで詳しく記載している。</p>	<p>◇躍動感を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の生き生きした動きを捉えて、作品に表そう <p>◇地域の魅力を表すパッケージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学科とのつながり(学習を支える資料) <p>二次元コードから技法の解説動画を視聴</p> <p>※各題材の表現活動に合わせて、動画の視聴をスムーズに行えるよう、シンプルな構成になっている。</p>	<p>◇材料に命を吹き込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料は身の回りで探そう <p>◇墨と水が描く世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな描き方を試してみる <p>◇暮らしの中の木の工芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途によって変わる表面加工(学びを支える資料) <ul style="list-style-type: none"> ◆どんなふうを描きたい？ ◆さまざまな技法で描く <ul style="list-style-type: none"> ◆木版画 ◆水墨画の表現 ◆文字の基本 ◆木でつくる ◆粘土でつくる ◆色彩の基本・仕組み <p>※掲載されている表現活動に関わる用具の使用方法和技法を手順も詳しく記載している。</p>	<p>【上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇筆と水で多彩に表す ・濃淡や筆の運びを試してみよう ◇思いが飛び出すカード ・いろいろな仕組みを試してみよう <p>【下】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分を表現する色 ・自然の色で染める(学びを支える資料) <p>【上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆立体を描く ◆遠近感を表す ◆人物をつくる ◆金属でつくる ◆日本の伝統色 ◆色彩の特徴を深く知る ◆写真で表現する <p>【下】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆動画で表現する ◆世界の工芸品と色彩 <p>※掲載されている表現活動に関わる発展的な技法を詳しく記載している。</p>

調査項目		発行者名					
		9 開隆堂		38 光村		116 日文	
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
技能については、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう配慮がされているか。	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表す配慮	◇「学びの資料」に技法などを解説した資料があり、題材に沿って適宜活用できるよう工夫している。 ◇生徒作品に添えられた「作者のことば」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表していることが分かるように工夫している。	◇「資料（別冊）」に技法などを解説した資料があり、題材に沿って適宜活用できるよう工夫している。 ◇生徒作品に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表していることが分かるように工夫している。	◇「学びを支える資料」に技法などを解説した資料があり、題材に沿って適宜活用できるよう工夫している。 ◇生徒作品に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表していることが分かるように工夫している。			
	材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる配慮	◇材料や用具の特性を生かした作品を豊富に掲載している。また、基本的な画材や用具の使用法や技法などについて記載している。 ◇表現活動における、豊かな発想や工夫につながる発展的な技法を、表現の一例として紹介している。 ◇題材の副題は、制作活動を具体的に想像しやすい言葉を設定している。 ◇制作順序については、関連作品だけでなく、生徒の活動の様子から、制作の見通しを持たせる資料を多く掲載しており、制作に取り組みやすいよう工夫している。 ◇題材の説明や発想の方法だけでなく、基本的な画材用具の使用法の確認や技法の紹介を記載し、確認できるよう工夫している。	◇材料や用具の特性を生かした作品を豊富に掲載している。また、主題に合わせて、生徒が画材や技法などを選択できるよう、画材や技法のページが充実している。 ◇表現活動における、豊かな発想や工夫につながる発展的な技法を、表現の一例として紹介している。 ◇題材の導入部分において、制作活動を具体的に想像しやすいよう記している。 ◇制作順序については、「みんなの工夫」において、発想・構想の段階から完成までの生徒の活動の様子、活動中の生徒の思いや考えを掲載し、完成までの手順を確認し、見通しを持って制作できるよう工夫している。	◇材料や用具の特性を生かした作品を豊富に掲載している。また、主題に合わせて、生徒が画材や技法などを選択できるよう、画材や技法のページが充実している。 ◇表現活動における、豊かな発想や工夫につながる発展的な技法を、表現の一例として紹介している。 ◇題材の主題は、制作活動を具体的に想像しやすい題材名を設定している。 ◇制作順序については、「表現のヒント」で、発想・構想を広げる手引きがあり、制作につなげやすいよう、構成している。			

調査項目			発行者名					
			9 開隆堂		38 光村		116 日文	
			【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるよう配慮されているか。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や	多様な表現方法の活用		◇物語だから動かしたい ◇伝えたいメッセージ(学びの資料) ◆これってどう撮るの	◇写真を撮る楽しさ 資料(別冊) 【写真】 ◆写真を撮影する 【映像】 ◆映像を制作する	◇心を動かすアニメーション ◇印象に残る映像表現		【上】 ◇写真表現の魅力 【下】 ◇動きで伝えるメッセージ(学びを支える資料) 【上】 ◆写真で表現する 【下】 ◆動画で表現する
		映像メディアの活用を図る題材						
		日本及び諸外国の作品の独特な表現形式の活用を図る題材	◇江戸の美術の面白さ ◇目を見張る楽しさ	◇墨から生まれる ◇時代と文化を超えて ◇写して 見つけて ◇物語だから動かしたい ◇仏像が表す世界 ◇明かりと光 ◇文化を守り、育む(学びの資料) ◆奥行き表現 ◆美術史の扉 ◆余白の美 ◆世界遺産と美術 ◆日本の伝統色	◇[体感ミュージアム]「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう ◇[体感ミュージアム]「火焰型土器」を鑑賞しよう ◇墨で表現する楽しさ ◇暮らしをいろいろ文様 ◇世界の仮面と出会う資料(別冊) 【色】 ◆日本と世界の伝統色図鑑	◇日本の絵画を楽しむ五つのキーワード ◇ゴッホと浮世絵 ◇漫画表現を楽しむ ◇季節感のある暮らし(学習を支える資料) ◆仏像について知ろう ◆日本の伝統工芸 ◆北と南の民族衣装	◇屏風、美のしかけ ◇墨と水が描く世界 ◇原始の美術に出会う旅 ◇祭りを彩る造形(学習を支える資料) ◆火焰型土器【原寸大】 ◆水墨画の表現	【上】 ◇筆と水で多彩に表す ◇浮世絵っておもしろい ◇日本文化との出会い ◇日本の技と心を受け継いで 【下】 ◇芸術としての漫画表現 ◇仏像の姿に見る人々の祈り ◇自分を表現する色(学習を支える資料) 【上】 ◆北斎の大波 ◆日本美術と世界美術の歩み ◆日本の伝統色 【下】 ◆絵巻物の世界 ◆仏像の種類 ◆美術文化の継承 ◆日本の世界文化遺産 ◆受け継ぐ伝統と文化 ◆世界の工芸品と色彩
漫画やイラストレーション、図などの活用を図る題材	◇構成の美しさ ◇イメージを伝える形(学びの資料) ◆文字のデザイン	◇私たちに身近な美術 ◇物語だから動かしたい ◇世界観や魅力を伝える ◇ひと目で伝える表示 ◇目にとまる 心にとまる ◇伝えたいメッセージ	◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るロゴマーク ◇暮らしをいろいろ文様資料(別冊) 【描く】 ◆文字をデザインする	◇漫画表現を楽しむ ◇心を動かすアニメーション ◇メッセージを伝える ◇わかりやすく情報を伝える ◇みんなのためのデザイン ◇防災のデザイン	◇つなげて広がる模様の世界 ◇文字が生み出すイメージ ◇形や色で伝えるシンボルマーク(学習を支える資料) ◆文字の基本	【上】 ◇ひと目で伝わるみんなのデザイン ◇その1枚が心を動かす 【下】 ◇芸術としての漫画表現(学習を支える資料) 【下】 ◆絵巻物の世界		

調査項目		発行者名						
		9 開隆堂		38 光村		116 日文		
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	
<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるよう配慮されているか。</p>	多様な表現方法の活用	<p>地域の身近なものや伝統的なものを取り上げた題材</p>	<p>◇イメージを伝える形 ◇ずっと木と一緒に ◇炎と共に生きる</p>	<p>◇私が見つめた風景 ◇ひと目で伝える表示 ◇生活を楽しく心地よく ◇つながるデザイン ◇つくって体感 みんなで体験 ◇明かりと光 ◇文化を守り、育む(学びの資料) ◆展覧会をつくる ◆共に学ぶ美術 ◆持続可能な未来へ ◆世界遺産と美術 ◆日本の伝統色</p>	<p>◇心ひかれるこの風景 ◇生活の中の焼き物 ◇暮らしをいどる文様 ◇木と親しむ暮らし 資料(別冊) 【色】 ◆日本と世界の伝統色 図鑑</p>	<p>◇環境と共に生きる彫刻 ◇季節感のある暮らし ◇あかりがつくる空間 ◇形や材料で比べる ◇地域の魅力を表すパッケージ ◇憩いの場をつくる</p>	<p>◇なぜか気になる情景 ◇材料に命を吹き込む出会い ◇つなげて広がる模様の世界 ◇形や色で伝えるシンボルマーク ◇見る人へ楽しく伝えよう ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしを彩る土の工芸 ◇祭りを彩る造形</p>	<p>【上】 ◇あなたの美を見つけて ◇日本の技と心を受け継いで ◇空間を彩る光の装飾 ◇ひと目でわかるみんなのデザイン ◇つくる・使う・材料を味わう工芸 ◇使う人の立場で考える ◇デザインの力でできること 【下】 ◇どこまで修復すべきか ◇自分を表現する色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇デザインで地域を豊かに ◇住み続けられる町づくり(学びを支える資料) 【上】 ◆暮らしに息づくパブリックアート ◆日本の伝統色 【下】 ◆さまざまなアートに触れよう ◆受け継ぐ伝統と文化</p>
	共同で行う創造活動の題材	<p>◇生き生きとした姿を表す</p>	<p>◇物語だから動かしたい ◇ひと目で伝える表示 ◇明かりと光(学びの資料) ◆展覧会をつくる ◆これってどう撮るの? ◆共に学ぶ美術</p>		<p>◇あれ?どうなっているの ◇心を動かすアニメーション</p>	<p>◇つなげて広がる模様の世界</p>	<p>【下】 ◇動きで伝えるメッセージ ◇住み続けられる町づくり</p>	
	指導の充実と学習の深まりのために、言語活動の充実を図るための工夫	<p>アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりする言語活動の事例</p>	<p>◇スケッチブックから広がる ◇形や色彩の響き合い ◇イメージを伝える形 ◇炎と共に生きる(学びの資料) ◆鑑賞ってなんだろう</p>	<p>◇私が見つめた風景 ◇自分と向き合う ◇私がイメージする世界 ◇物語だから動かしたい ◇語る彫刻 ◇イメージを形にして ◇世界観や魅力を伝える ◇目にとまる 心にとまる</p>	<p>◇発想のしかたはさまざま ◇見つけ、感じ取り、描く ◇自然の形や色を見つけて ◇その人らしさを捉える ◇心ひかれるこの風景 ◇響きあう形と色 ◇印象に残るロゴマーク</p>	<p>◇心の中の風景を表す ◇空想の世界へようこそ ◇あれ?どうなっているの ◇形と色の挑戦 ◇躍動感を捉える ◇今の自分、これからの自分 ◇メッセージを伝える ◇わかりやすく情報を伝える</p>	<p>◇そのものらしさを形にして ◇つなげて広がる模様の世界 ◇文字が生み出すイメージ ◇見るひとへ楽しく伝えよう ◇暮らしを彩る土の造形(学びを支える資料) ◆発想・構想の手立て</p>	<p>【上】 ◇しぐさで語る動物たち ◇イメージを形にする ◇日本の技と心を受け継いで ◇ひと目で伝わるみんなのデザイン ◇その1枚が心を動かす 【下】</p>

調査項目		発行者名					
		9 開隆堂		38 光村		116 日文	
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
指導の充実と学習の深まりのために、言語活動の充実を図るための工夫	アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりする言語活動の事例		◇生活を楽しく心地よく	◇写真を撮る楽しさ ◇暮らしをいろいろ文様 ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし 資料（別冊） 【映像】 ◆映像を制作する 【発想・構想】 ◆発想・構想のために	◇季節感のある暮らし ◇あかりがつくる空間 ◇地域の魅力を表すパッケージ		◇わたし自身を見つめて ◇あなたのイメージを探そう ◇自分を表現する色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇動きで伝えるメッセージ ◇住み続けられる町づくり
	[作品などについて説明し合う（1年）／作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合う（2・3年）] などして対象の見方や感じ方を広げるなどの言語活動の事例	[A 表現] ◇その人らしさが大切 ◇イメージを伝える形 [B 鑑賞] (学びの資料) ◆鑑賞ってなんだろう	[A 表現] ◇物語だから動かしたい ◇ひと目で伝える表示 ◇目にとまる 心にとまる ◇生活を楽しく心地よく ◇明かりと光 [B 鑑賞] ◇印象派の表現の広がり (学びの資料) ◆展覧会をつくる ◆共に学ぶ美術	[A 表現] ◇気持ちを伝えるデザイン [B 鑑賞] ◇[体感ミュージアム]「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう ◇絵や彫刻の世界 ◇「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう (学習を支える資料) ◆美術鑑賞を楽しむ手がかかり	[A 表現] ◇心の中の風景を表す ◇メッセージを伝える ◇わかりやすく情報を伝える ◇季節感のある暮らし ◇地域の魅力を表すパッケージ [B 鑑賞] ◇形や材料で比べる	[B 鑑賞] ◇屏風、美のしかけ ◇絵の中にある物語	[A 表現] 【上】 ◇つくる・使う・材料を味わう工芸 【下】 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇動きで伝えるメッセージ ◇住み続けられる町づくり [B 鑑賞] 【上】 ◇デザインの力でできること 【下】 ◇どこまで修復すべきか

別表 4

調査項目			発行者名					
			9 開隆堂		38 光村		116 日文	
			【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	美術への関心を高めるための題材や事例	オリエンテーションの題材	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 図画工作から美術へ ◇ この教科書で美術を学習するみなさんへ・目次 ◇ 自分の思いを表そう ◇ つくることでつながる ◇ 使える知識 広がる美術 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 私たちに身近な美術 ◇ この教科書で美術を学習するみなさんへ・目次 ◇ 受け継がれる美術 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ うつくしい！(P2~3) ◇ うつくしい！を探してみよう ◇ 教科書を活用しよう ◇ 美術の扉を開こう ◇ 「絵や彫刻」の世界 ◇ 発想のしかたはさまざま ◇ 「デザインや工芸」の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ うつくしい！(P2~3) ◇ 私たちに問いかける美術 ◇ 暮らしの中のデザイン・工芸 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 美術との出会い ◇ 目次・学びの言葉／松任谷由美 ◇ ようこそ美術の学びへ ◇ 教科書の使い方 ◇ 鑑賞との出会い ◇ 絵や彫刻との出会い ◇ デザインや工芸との出会い 	<ul style="list-style-type: none"> 【上】 ◇ 学びの実感と深まり ◇ 目次・あなたの美を見つけて ◇ 教科書の使い方 【下】 ◇ 学びの探求と未来 ◇ 目次・社会に生きる美術の力 ◇ 教科書の使い方
		掲載されているコラムの数と内容	<ul style="list-style-type: none"> 5箇所 ◇ 廃材に命を吹き込む ◇ 静岡市プラモデル化計画 ◇ 豊かな森を育成する ◇ 受け継がれていく文化財 ◇ 器を使い続ける工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 9箇所 ◇ 受け継がれる伝統の技法 ◇ 気候変動を食い止める手 ◇ 言語の壁を超える絵文字 ◇ おいしさと安全をすべての人に ◇ みんなの活動を作品へ ◇ 鉄塔の骨組みを生かして ◇ 木のぬくもりを感じるスタジアム ◇ 竹害を竹財に ◇ 捨てずに資源として再利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 6箇所 ◇ P2~3の写真について ◇ 何度も草花と向き合って ◇ 「見立て」で撮る ◇ ロゴマークを生かしたデザイン ◇ 「君の椅子」プロジェクト ◇ 小・中学生の作品展 	<ul style="list-style-type: none"> 5箇所 ◇ P2~3「太陽の塔」について ◇ エジプトへの旅 ◇ さまざまに自分を表現する ◇ 東京2020スポーツピクトグラムデザイン ◇ ユニバーサルデザインの7原則 ◇ 伝統工芸に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 7箇所 ◇ どのようにして壁画を描いたのだろう ◇ こんなにも違う文字の形 ◇ アニメーションで文字をつくろう ◇ 文字から考える他者のためのデザイン ◇ 地域のマーク ◇ 美術の中にもある黄金比 ◇ 仙台七夕まつりと故郷復興プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> 14箇所 【上】 ◇ 学びを深める三つのヒント ◇ 西洋で大ブームとなったジャポニスム ◇ 可能性を広げる分身ロボット ◇ なんだ、これは！ ◇ 浮世絵が影響した西洋美術 【下】 ◇ 漫画表現の発展 ◇ ピカソの表現 ◇ 科学の視点でとらえたレオナルド ◇ 後世に美しさを伝えるための仕事 ◇ アイヌと沖縄の衣服 ◇ 思いを結ぶ水引 ◇ 地域の魅力をデザインで伝える ◇ さまざまな映像表現 ◇ 地域のカラーチャート

調査項目			発行者名					
			9 開隆堂		38 光村		116 日文	
			【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	主体的に学習を進めるための工夫	活動のねらいや題材名の工夫についての記述	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」を示し、「表現」や「鑑賞」の各段階において、身に付けたい3つの資質・能力を具体的に示すことで、活動のねらいが理解しやすいよう構成している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」を示し、「表現」や「鑑賞」の各段階において、身に付けたい3つの資質・能力を具体的に示すことで、活動のねらいが理解しやすいよう構成している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」が、生徒に伝わりやすい簡潔な文章で示されており、活動のねらいが理解しやすいよう構成している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」が、生徒に伝わりやすい簡潔な文章で示されており、活動のねらいが理解しやすいよう構成している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「学びの目標」を設け、活動のねらいを理解しやすくし、また題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設け、題材の視点を授業者と生徒で共有できるように工夫している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「学びの目標」を設け、活動のねらいを理解しやすくし、また題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設け、題材の視点を授業者と生徒で共有できるように工夫している。
		学習を振り返り、次の学びにつながる視点の記述	◇各題材において、題材導入動画が用意されるとともに、授業の導入から、知識や技能の習得、発想や構想のサポート、振り返りまでの授業展開が分かりやすく、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、題材導入動画が用意されるとともに、授業の導入から、知識や技能の習得、発想や構想のサポート、振り返りまでの授業展開が分かりやすく、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、活動のねらいに沿って「鑑賞」と「表現」を関連付けて掲載しており、学びの流れを明確に示すことで、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、活動のねらいに沿って「鑑賞」と「表現」を関連付けて掲載しており、学びの流れを明確に示すことで、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、主文とセットで題材導入動画が新設され、活動のねらいを明確に示している。	◇各題材において、主文とセットで題材導入動画が新設され、活動のねらいを明確に示している。
		◇副題を付け、「表現」及び「鑑賞」の活動の内容が、具体的にイメージしやすい題材名を設定している。	◇副題を付け、「表現」及び「鑑賞」の活動の内容が、具体的にイメージしやすい題材名を設定している。	◇表現及び鑑賞の活動に共通する思考のためのヒントを、端的に表す題材名を設定している。	◇表現及び鑑賞の活動に共通する思考のためのヒントを、端的に表す題材名を設定している。	◇表現及び鑑賞の活動に共通する思考のためのヒントを、端的に表す題材名と、活動のねらいが具体的にイメージしやすい副題を設定している。	◇表現及び鑑賞の活動に共通する思考のためのヒントを、端的に表す題材名と、活動のねらいが具体的にイメージしやすい副題を設定している。	
		◇「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれ領域・分野において扉のページを置き、各学習活動の意味や目的を考えることができるよう工夫している。	◇「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれ領域・分野において導入ページを設定し、活動のねらいを理解し、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれ領域・分野において導入ページを設定し、活動のねらいを理解し、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれ領域・分野において導入ページを設定し、これから取り組む活動内容を把握し、見通しを持って取り組めるよう工夫している。	◇「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれ領域・分野において導入ページを設定し、これから取り組む活動内容を把握し、見通しを持って取り組めるよう工夫している。	◇「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」のそれぞれ領域・分野において導入ページを設定し、これから取り組む活動内容を把握し、見通しを持って取り組めるよう工夫している。	
		◇各題材の初めに、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」を明確に示すことで、生徒が学習を振り返り、次の学びにつながる視点を持って、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材の初めに、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」を明確に示すことで、生徒が学習を振り返り、次の学びにつながる視点を持って、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」を明確に示すことで、生徒が学習を振り返り、次の学びにつながる視点を持って、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「目標」を明確に示すことで、生徒が学習を振り返り、次の学びにつながる視点を持って、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「学びの目標」を明確に示すことで、生徒が学習を振り返り、次の学びにつながる視点を持って、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	◇各題材において、学習指導要領の資質・能力の3つの柱に対応した「学びの目標」を明確に示すことで、生徒が学習を振り返り、次の学びにつながる視点を持って、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。	
		◇巻末において、1年間の美術の学習を振り返り、2年生以降の学びについて紹介するページが用意されており、次の学びにつなげるための視点の記述がある。	◇巻末において、3年間の美術の学習を振り返り、美術で身に付けた力は、人生において様々な場面で生かすことができることを示し、今後の学びにつなげられるよう工夫している。	◇「心の中の風景を表す」「空想の世界へようこそ」「あれ？どうなっているの」「ゴッホと浮世絵」「漫画表現を楽しむ」「季節感のある暮らし」と、「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」の双方	◇「心の中の風景を表す」「空想の世界へようこそ」「あれ？どうなっているの」「ゴッホと浮世絵」「漫画表現を楽しむ」「季節感のある暮らし」と、「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」の双方	◇美術2・3下「社会に生きる美術の力」「あなたへ明日への巣立ち」において、3年間の美術の学習を振り返り、美術で身に付けた力は、人生において様々な場面で生かすことができることを示し、生	◇美術2・3下「社会に生きる美術の力」「あなたへ明日への巣立ち」において、3年間の美術の学習を振り返り、美術で身に付けた力は、人生において様々な場面で生かすことができることを示し、生	

調査項目		発行者名					
		9 開隆堂		38 光村		116 日文	
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
					において、互いの関連を示し、次の学びにつながる視点が持てるよう工夫している。		徒の学びが次の学習につながるよう工夫している。
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	深い学びの実現のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒にとって親しみを感じられる作品を数多く掲載することで、身近なものと美術文化のつながりを示すとともに、主体的な学習を促し、深い学びを実現しようとしている。 ◇内側に図版が折り込まれたページの外側に、鑑賞のポイントを示す問いかけを掲載することで、折り込みを開きたくなるような構成を工夫したり、原寸図版を掲載したりすることで、生徒の興味・関心を高め、深い学びにつなげようとしている。 ◇二次元コードコンテンツを多数掲載し、紙面とともに活用することで学びが深められるよう工夫している。 ◇学習をサポートする先生と生徒のキャラクターを掲載し、紙面への親しみを持たせるとともに、「思考・判断・表現」の学習を深めるための「発想・構想」の方法や「鑑賞」の学習の進め方のヒントやポイントを、それぞれの視点からの言葉によって示し、より深い学びへと導かれるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇制作過程が分かる「みんなの工夫」において、中学生が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を丁寧に紹介することで生徒の創作意欲を引き出し、意欲的に取り組むことで学びを深められるよう工夫している。 ◇4ページ構成の題材では、最後に鑑賞を位置付けられており、表現の活動の後に、作者の言葉とともに作品を鑑賞することで、より学びが深まるよう工夫している。 ◇二次元コードコンテンツを多数掲載し、紙面とともに活用することで学びが深められるよう工夫している。 ◇美術1別冊資料に知識・技能に関する情報を本誌と分けて掲載することで、3年間を通して、資料を参照しながら主体的に制作を進め、深い学びが得られるよう工夫している。 ◇美術2・3において、日本の絵画がもつ自然観や美意識を五つのキーワードに基づいて紹介するとともに、和紙のような風合いの紙面で掲載することで、日本美術の魅力を深く味わい、学びを深められるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇題材を貫く主発問となる「鑑賞の入り口」を設けることで、活動のねらいを理解し、生徒が自分なりの問いを生み出して、探究的に学習を深められるよう工夫している。 ◇題材を貫く主発問である「鑑賞の入り口」を解決するために、必要な知識を「造形的な視点」として具体的に示すことで、生徒が自らの力で課題を解決しようとする力を高め、深い学びにつなげようとしている。 ◇二次元コードコンテンツを多数掲載し、紙面とともに活用することで学びが深められるよう工夫している。 ◇表現活動に必要な発想・構想の手立てや技能面の補足を、「表現のヒント」として短い言葉で具体的に示すことで、学びの深まりを助けるよう工夫している。 ◇関連する題材や「学びを支える資料」同士を参照ページとして記載し繋ぐことで、題材間で学びが深まるよう工夫している。 ◇3分冊ごとにテーマとテーマに基づいたオリエンテーションが掲載されており、3年間の学びの深まりが自覚できるように工夫している。 			
	創造性を尊重する態度の形成と知的財産権、肖像権等についての記述	<ul style="list-style-type: none"> ◇「著作権を知ろう」において、知的財産権や肖像権、情報モラルが文化・社会の発展を維持するうえで、重要な役割を担っていることを理解できるように、分かりやすく整理して示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「これってどう撮るの」において、知的財産権や肖像権、情報モラルが文化・社会の発展を維持するうえで、重要な役割を担っていることを理解できるように、分かりやすく整理して示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇裏表紙「この教科書を使うみなさんへ」、美術1別冊資料「さまざまな描き方」「端末を活用する」「写真を活用する」「映像を制作する」において、作品や音楽には著作権があることや、写真や映像を撮るときは肖像権や著作権に十分配慮する必要があることを、注意喚起のマークとともに示し、解説している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「学習を支える資料一覧」、裏表紙「この教科書を使うみなさんへ」において、作品や音楽には著作権があることや、写真や映像を撮るときは肖像権や著作権に十分配慮する必要があることを、注意喚起のマークとともに示し、解説している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「教科書の使い方」「発想・構想の手立て②」において、作品の著作権等の知的財産権についての注意や、撮影における肖像権の注意喚起をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「教科書の使い方」「動きで伝えるメッセージ」「動画で表現する」において、作品の著作権等の知的財産権についての注意や、撮影における肖像権の注意喚起をしている。
生活や社会の中の美術や美術文化を実感できるように配置されているか。	美術や美術文化への様々な関わり方の記述	<ul style="list-style-type: none"> ◇江戸の美術の面白さ ◇つくることにつながる ◇構成の美しさ ◇イメージを伝える形 ◇ざっと木とっしょに ◇炎と共に生きる ◇目を見張る楽しさ ◇使える知識広がる美術 ◇文字のデザイン ◇美術館へ行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ◇私たちに身近な美術 ◇受け継がれる美術 ◇墨から生まれる ◇印象派の表現の広がり ◇時代と文化を越えて ◇写して見つけて ◇物語だから動かしたい ◇人間らしさを求めて ◇怒り、悲しみ、叫びのゆくえ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇美術の扉を開こう ◇「絵や彫刻」の世界 ◇発想のしかたはさまざま ◇「ムーランド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう ◇「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう ◇「デザインや工芸」の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ◇私たちに問いかける美術 ◇「最後の晩餐」を鑑賞しよう ◇「明日の神話」を鑑賞しよう ◇日本の絵画を楽しむ五つのキーワード ◇ゴッホと浮世絵 ◇「ゲルニカ」を鑑賞しよう ◇暮らしの中のデザイン・ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇美術との出会い（原寸大） ◇目次・学びの言葉 松任谷由実 ◇ようこそ美術の学びへ ◇鑑賞との出会い ◇絵や彫刻との出会い ◇屏風、美のしかけ ◇原始の美に出会う旅 ◇デザインや工芸との出会い 	<ul style="list-style-type: none"> ◇【上】 ◇学びの実感と深まり ◇現代美術にザワザワザワッ！ ◇写真表現の魅力 ◇筆と水で多彩に表す ◇浮世絵っておもしろい ◇日本文化との出会い ◇日本の技と心を受け継いで

調査項目		発行者名					
		9 開隆堂		38 光村		116 日文	
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
生活や社会の中の美術や美術文化を実感できるように配置されているか。	美術や美術文化への様々な関わり方の記述	◇仏像が表す世界 ◇世界観や魅力を伝える ◇ひと目で伝える表示 ◇目にとまる 心にとまる ◇伝えたいメッセージ ◇生活を楽しく 心地よく ◇つながるデザイン ◇つくって体感 みんなで体験 ◇明かりと光 ◇文化を守り、育む ◇美術史の扉 ◇共に学ぶ美術 ◇持続可能な未来へ ◇世界遺産と美術 ◇日本の伝統色 ◇美術と私と社会 ◇美術と共に生きていく 中学校を卒業する君へ	◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るロゴマーク ◇暮らしをいろどる文様 ◇気持ちを伝えるデザイン ◇「火焰型土器」を鑑賞しよう ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし ◇世界の仮面と出会う ◇美術館を楽しもう ◇芸術祭へ行こう ◇美術鑑賞を楽しむ手がかり	◇工芸 ◇メッセージを伝える ◇印象に残る映像表現 ◇わかりやすく情報を伝える ◇季節感のある暮らし ◇みんなのためのデザイン ◇防災のデザイン ◇あかりがつくる空間 ◇形や材料で比べる ◇地域の魅力を表すパッケージ ◇憩いの場をつくる ◇仏像について知ろう ◇美術史年表 ◇日本の伝統工芸 ◇北と南の民族衣装 ◇美術の力	◇つなげて広がる模様の世界 ◇文字が生み出すイメージ ◇形や色で伝えるシンボルマーク ◇見るひとへ楽しく伝えよう ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしを彩る土の造形 ◇自然の美しさから生まれた ◇祭りを彩る造形 ◇火焰型土器（原寸大） ◇発想・構想の手立て①/ 鈴木康広、田中達也 ◇美術館へ行こう	◇思い出が飛び出すカード ◇空間を彩る光の装飾 ◇ひと目で伝わるみんなのデザイン ◇その1枚が心を動かす ◇つくる・使う・材料を味わう工芸 ◇使う人の立場で考える ◇デザインの力でできること ◇岡本太郎“芸術はみんなのもの” ◇暮らしに息づくパブリックアート ◇北斎の大波 ◇日本美術と世界の美術の歩み ◇日本の伝統色 【下】 ◇学びの探求と未来 ◇目次・社会に生きる美術の力 ◇芸術としての漫画表現 ◇空想の中の不思議な世界 ◇光に気持ちを込めて ◇あの日を忘れない ◇ルネサンスが目指したものの ◇仏像の姿に見る人々の祈り ◇どこまで修復すべきか ◇思いを込めた卒業記念品 ◇自分を表現する色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇動きで伝えるメッセージ ◇デザインで地域を豊かに ◇住み続けられる町づくり ◇さまざまなアートに触れよう ◇絵巻物の世界 ◇仏像の種類／美術文化の継承 ◇日本の世界文化遺産 ◇受け継ぐ伝統と文化 ◇世界の工芸品と色彩	
	美術館・博物館等の活用や連携を図る事例	◇美術館へ行こう ◇江戸の美術の面白さ	◇持続可能な未来へ ◇明かりと光 ◇つながるデザイン ◇共に学ぶ美術 ◇私たちに身近な美術 ◇文化を守り、育む ◇イメージを形にして	◇「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう ◇印象に残るロゴマーク ◇美術館を楽しもう ◇芸術祭へ行こう	◇「明日の神話」を鑑賞しよう	◇美術館へ行こう	【上】 ◇現代美術にザワザワザワッ！ ◇暮らしに息づくパブリックアート 【下】 ◇さまざまなアートに触れよう ◇美術文化の継承

調査項目		発行者名					
		9 開隆堂		38 光村		116 日文	
		【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
							◇日本の世界文化遺産
生活や社会の中の美術や美術文化を実感できるように配置されているか。	[生活(1年) / 生活や社会(2・3年)]の中の美術の働きや美術文化に関する鑑賞	美術の働きに関する鑑賞の題材 ◇構成の美しさ ◇イメージを伝える形 ◇ずっと木といっしょに ◇炎と共に生きる ◇文字のデザイン ◆つくることでつながる ◆発想・構想のヒント ◆色彩と光	◇世界観や魅力を伝える ◇ひと目で伝える表示 ◇目にとまる 心にとまる ◇伝えたいメッセージ ◇生活を楽しく 心地よく ◇つながるデザイン ◇つくって体感 みんなで体験 ◇明かりと光 ◆展覧会をつくる ◆紙の表現 ◆これってどう撮るの ◆持続可能な未来 ◆日本の伝統色 ◆美術と私と社会	◇写真を撮る楽しさ ◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るロゴマーク ◇気持ちを伝えるデザイン ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし ◆「デザインや工芸」の世界	◇心を動かすアニメーション ◇暮らしの中のデザイン・工芸 ◇メッセージを伝える ◇印象に残る映像表現 ◇わかりやすく情報を伝える ◇季節感のある暮らし ◇みんなのためのデザイン ◇防災のデザイン ◇あかりがつくる空間 ◇形や材料で比べる ◇地域の魅力を表すパッケージ ◇憩いの場をつくる ◆私たちに問いかける美術 ◆暮らしの中のデザイン・工芸	◇つなげて広がる模様の世界 ◇文字が生み出すイメージ ◇形や色で伝えるシンボルマーク ◇見るひとへ楽しく伝えよう ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしを彩る土の造形 ◇自然の美しさから生まれた ◆鑑賞との出会い ◆人の暮らしを豊かに ◆発想・構想の手立て① ◆色彩の基本・仕組み	【上】 ◇日本の技と心を受け継いで ◇思いが飛び出すカード ◇空間を彩る光の装飾 ◇ひと目で伝わるみんなのデザイン ◇その1枚が心を動かす ◇つくる・使う・材料を味わう工芸 ◇使う人の立場で考える ◇デザインのできること 【下】 ◇思いを込めた卒業記念品 ◇自分を表現する色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇動きで伝えるメッセージ ◇デザインで地域を豊かに ◇住み続けられる町づくり ◆社会に生きる美術の力
	美術文化に関する鑑賞の題材	◇江戸の美術の面白さ ◇ずっと木といっしょに ◇炎と共に生きる ◇目を見張る楽しさ ◆美術館へ行こう	◇私がイメージする世界 ◇墨から生まれる ◇印象派の表現の広がり ◇時代と文化を越えて ◇写して 見つけて ◇物語だから動かしたい ◇人間らしさを求めて ◇怒り、悲しみ、叫びのゆくえ ◇語る彫刻 ◇イメージを形にして ◇仏像が表す世界 ◇文化を守り、育む ◆私たちに身近な美術 ◆受け継がれる美術 ◆美術と私と社会 ◆美術史の扉 ◆世界遺産と美術 ◆日本の伝統色	◇「ムーランド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう ◇「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を鑑賞しよう ◇暮らしをいろどる文様 ◇「火焰型土器」を鑑賞しよう ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし ◇世界の仮面と出会う ◆美術館を楽しもう ◆芸術祭へ行こう	◇「最後の晚餐」を鑑賞しよう ◇空想の世界へようこそ ◇「明日の神話」を鑑賞しよう ◇日本の絵画を楽しむ五つのキーワード ◇ゴッホと浮世絵 ◇「ゲルニカ」を鑑賞しよう ◆仏像について知ろう ◆美術史年表 ◆日本の伝統工芸 ◆北と南の民族衣装	◇屏風、美のしかけ ◇墨と水が描く世界 ◇原始の美に出会う旅 ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしを彩る土の造形 ◇祭りを彩る造形 ◆美術との出会い ◆鑑賞との出会い ◆火焰型土器 ◆美術館へ行こう	【上】 ◇現代美術にザワザワザワッ! ◇筆と水で多彩に表す ◇浮世絵っておもしろい ◇日本文化との出会い ◇日本の技と心を受け継いで ◇つくる・使う・材料を味わう工芸 ◆学びの実感と深まり ◆岡本太郎“芸術はみんなのもの” ◆暮らしに息づくパブリックアート ◆北斎の大波 ◆日本美術と世界の美術の歩み ◆日本の伝統色

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目			発行者名					
			9 開隆堂		38 光村		116 日文	
			【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
生活や社会の中の美術や美術文化を実感できるように配置されているか。	[生活(1年) / 生活や社会(2・3年)] の中の美術の働きや美術文化に関する鑑賞	美術文化に関する鑑賞の題材						【下】 ◇芸術としての漫画表現 ◇空想の中の不思議な世界
								◇あなたのイメージを探そう ◇光に気持ちを込めて ◇ルネサンスが目指したもの ◇仏像の姿に見る人々の祈り ◇どこまで修復すべきか ◆さまざまなアートに触れよう ◆絵巻物の世界 ◆仏像の種類 ◆日本の世界文化遺産 ◆受け継ぐ伝統と文化 ◆世界の工芸品と色彩

別表5

調査項目	発行者名					
	9 開隆堂		38 光村		116 日文	
	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
「発展」や「今日的な課題」の記載のある内容を示す記述	<ul style="list-style-type: none"> ◇持続可能な社会（SDGs）の観点に立った題材や環境への配慮を促す題材を掲載している。 ◇日本の伝統文化や地域の伝統的な工芸品を取り上げた題材を掲載している。 ◇自然災害や戦争といった歴史的に重要な出来事を描いた作品を扱う題材、人類が抱える様々な課題を美術の力での解決を考える、平和や人権などにつながる題材を設定している。 ◇共同制作や地域連携の事例を多く取り上げて、社会に開かれた教育課程を示している。 ◇問題発見・課題解決能力の育成につながる制作過程で問題を発見し、解決する力を付けることを意識した題材を設定している。 ◇個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、生徒が個々の特性に合った方法で制作が進められるよう資料を掲載し、二次元コードからリンクする技法動画に字幕を表示し、再生速度を変えられるなど配慮している。 ◇「つながるデザイン」において、インクルーシブな社会に向けて取り組まれている活動を鑑賞するページを掲載し、人と人につながるデザインに関心が持てるよう、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇持続可能な社会（SDGs）の観点に立った題材や環境への配慮を促す題材を掲載している。 ◇47都道府県全ての日本の伝統文化や地域の伝統的な工芸品を取り上げた題材を掲載している。 ◇自然災害や戦争といった歴史的に重要な出来事を描いた作品を扱う題材、人類が抱える様々な課題を美術の力での解決を考える、平和や人権などにつながる題材を設定している。 ◇共同制作や地域連携の事例を多く取り上げて、社会に開かれた教育課程を示している。 ◇問題発見・課題解決能力の育成につながる制作過程で問題を発見し、解決する力を付けることを意識した題材を設定している。 ◇個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、生徒が個々の特性に合った方法で制作が進められるよう資料を別冊で用意している、また別冊資料や学びを支える資料の二次元コードからリンクする技法動画は必要に応じて字幕を表示できたり、再生速度を変えられたりなど配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇持続可能な社会（SDGs）の観点に立った題材や環境への配慮を促す題材を掲載している。 ◇日本の伝統文化や地域の伝統的な工芸品を取り上げた題材を掲載している。 ◇自然災害や戦争といった歴史的に重要な出来事を描いた作品を扱う題材、人類が抱える様々な課題を美術の力での解決を考える、平和や人権などにつながる題材を設定している。 ◇共同制作や地域連携の事例を多く取り上げて、社会に開かれた教育課程を示している。 ◇問題発見・課題解決能力の育成につながる制作過程で問題を発見し、解決する力を付けることを意識した題材を設定している。 ◇個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、生徒が個々の特性に合った方法で制作が進められるよう資料を掲載し、二次元コードからリンクする技法動画に字幕を表示し、再生速度を変えられるなど配慮している。 			

別表6

調査項目	発行者名					
	9 開隆堂		38 光村		116 日文	
	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
小学校図画工作科との関連を示す記述	◇オリエンテーション「図画工作から美術へ」において、図画工作から美術へのつながりを大切に導入ページを折り込み3ページで掲載し、美術の学習に対して意欲が高められるよう工夫している。		◇オリエンテーション「美術の扉を開こう」「小中学生の作品展」において、小学校図画工作科とのつながりを示している。		◇オリエンテーション「ようこそ美術の学びへ」「教科書の使い方」において、小学校での経験や学びで身に付けたことが、中学校でも活用できることが示している。	
高等学校芸術科美術・美術科工芸との関連を示す記述		◇「美術と私と社会」において、美術を通して人生を豊かにしたり、美術を通して社会を考えたりする人たちの生きざまから、自身のキャリア形成について考えられるよう工夫している。 ◇「美術と共に生きていく中学校を卒業する君へ」において、美術が授業だけでなくことに触れ、高等学校芸術科や未来社会とのつながりを示している。		◇「私たちに問いかける美術」「美術の力」において、社会における美術の力や働きについて触れ、高等学校芸術科や未来社会とのつながりを示している。 ◇「うつくしい！」(P106～107)において、自己の美意識や価値観の形成につながる視点を示している。		【下】 ◇「目次・社会に生きる美術の力」において、著名人の言葉や作品を掲載することで、美術の学びがこれからの人生や生活に大きく関わってくる力になることに触れ、高等学校芸術科や未来社会とのつながりを示している。 ◇「あなたへ 明日への巣立ち」において、自己の美意識や価値観の形成につながる視点を示している。
他教科との関連を示す記述	◇他教科との関連を図った題材が設定されている。(国語科3題材、社会科2題材、数学科1題材、理科5題材、技術・家庭科4題材、特別活動1題材)	◇他教科との関連を図った題材が設定されている。(国語科1題材、社会科10題材、理科1題材、技術・家庭科6題材、特別活動4題材)	◇「響き合う形と色」は音楽科、「エッシャーの敷き詰め模様」は数学科、「気持ちを伝えるデザイン」は英語科、「生活の中の焼き物」は家庭科、「美術鑑賞を広げる言葉」は国語科、美術1別冊[資料]「自然が教えてくれるもの」は理科との関連が、それぞれ「他教科とのつながり」を示すピクトグラムとともに解説を掲載することで、具体的に示している。	◇「最後の晩餐」を鑑賞しようは社会科、「メッセージを伝える」は国語科、「あかりがつくる空間」は技術・家庭科、「地域の魅力を表すパッケージデザイン」は数学科との関連が、それぞれ「他教科とのつながり」を示すピクトグラムとともに解説を掲載することで、具体的に示している。	◇他教科との関連を図った題材が設定されている。(国語科1題材、社会科3題材、数学科2題材、理科1題材、音楽科1題材、技術・家庭科3題材、英語科1題材、総合的な活動の時間3題材)	【上】 ◇他教科との関連を図った題材が設定されている。(国語科3題材、社会科5題材、数学科1題材、理科1題材、保健体育科1題材、技術・家庭科1題材、特別活動1題材、総合的な活動の時間5題材) 【下】 ◇他教科との関連を図った題材が設定されている。(国語科2題材、社会科5題材、理科1題材、英語科2題材、技術・家庭科2題材、特別活動7題材、総合的な活動の時間7題材)
特別の教科 道徳との関連を示す記述	◇スケッチブックから広がる ◇その人らしさが大切 ◇生き生きとした姿を表す ◇江戸の美術の面白さ	◇受け継がれる美術 ◇自分と向き合う ◇私がイメージする世界 ◇時代と文化を越えて ◇怒り、悲しみ、叫びの	◇「ムーランド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう ◇その人らしさを捉える ◇墨で表現する楽しさ ◇「風神・雷神像」と「風神	◇「最後の晩餐」を鑑賞しよう ◇「明日の神話」を鑑賞しよう ◇ゴッホと浮世絵 ◇環境とともに生きる彫刻	◇人間っておもしろい ◇屏風、美のしかけ ◇墨と水が描く世界 ◇絵の中にある物語 ◇原始の美に出会う旅 ◇形や色で伝えるシン	【上】 ◇学びの実感と深まり ◇目次・あなたの美を見つけて ◇現代美術にザワザワザワッ!

調査項目	発行者名					
	9 開隆堂		38 光村		116 日文	
	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
特別の教科 道徳との関連を示す記述	<ul style="list-style-type: none"> ◇炎と共に生きる ◇目を見張る楽しさ ◇発想・構想のヒント 	<ul style="list-style-type: none"> ゆくえ ◇語る彫刻 ◇イメージを形にして ◇世界観や魅力を伝える ◇ひと目で伝える表示 ◇目にとまる 心にとまる ◇つながるデザイン ◇つくって体感 みんなで体験 ◇文化を守り、育む ◇共に学ぶ美術 ◇持続可能な未来へ ◇世界遺産美術 ◇美術と私と社会 ◇美術と共に生きていく 	<ul style="list-style-type: none"> 雷神図屏風」を鑑賞しよう ◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るロゴマーク ◇暮らしをいろいろ文様 ◇気持ちを伝えるデザイン ◇「火焰型土器」を鑑賞しよう ◇木と親しむ暮らし ◇世界の仮面と出会う 	<ul style="list-style-type: none"> ◇今の自分、これからの自分 ◇「ゲルニカ」を鑑賞しよう ◇メッセージを伝える ◇印象に残る映像表現 ◇わかりやすく情報を伝える ◇季節感のある暮らし ◇みんなのためのデザイン ◇防災のデザイン ◇地域の魅力を表すパッケージ ◇憩いの場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ボルマーク ◇暮らしの中の木の工芸 ◇自然の美しさから生まれた ◇祭りを彩る造形 ◇火焰型土器 	<ul style="list-style-type: none"> ◇しぐさで語る動物たち ◇筆と水で多彩に表す ◇浮世絵っておもしろい ◇日本文化との出会い ◇日本の技と心を受け継いで ◇ひと目で伝わるみんなのデザイン ◇その1枚が心を動かす ◇使う人の立場で考える ◇デザインの力でできること 【下】 ◇学びの実感と深まり ◇目次・社会に生きる美術の力 ◇わたし自身を見つめて ◇芸術としての漫画表現 ◇あの日を忘れない ◇ルネサンスが目指したもの ◇仏像の姿に見る人々の祈り ◇どこまで修復すべきか ◇自分を表現する色 ◇デザインで地域を豊かに ◇住み続けられる町づくり
キャリア教育との関連を示す記述	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の思いを表そう ◇生き生きとした姿を表す(廃材に命を吹き込む) ◇つくることにつながる ◇イメージを伝える形 ◇発想・構想のヒント ◇鑑賞ってなんだろう ◇美術館へ行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ◇私たちに身近な美術(漫画と美術・美術のよさをつないでいく) ◇私がイメージする世界 ◇墨から生まれる ◇語る彫刻(気候変動を食い止める手) ◇イメージを形にして ◇世界観や魅力を伝える(言葉の壁を超える絵文字) ◇ひと目で伝える表示(おいしさと安心をすべての人に) ◇目にとまる 心にとまる ◇伝えたいメッセージ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇うつくしい!(P2~3の写真について) ◇自然の形や色を見つめて(何度も草花と向き合っ て) ◇心ひかれるこの風景 ◇材料に命を吹き込む ◇写真を撮る楽しさ(「見立て」で撮る) ◇「デザインや工芸」の世界 ◇印象に残るロゴマーク(ロゴマークを生かしたデザイン) ◇暮らしをいろいろ文様 ◇気持ちを伝えるデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ◇私たちに問いかける美術 ◇空想の世界へようこそ ◇あれ?どうなっているの ◇環境とともに生きる彫刻 ◇漫画表現を楽しむ ◇心を動かすアニメーション ◇今の自分、これからの自分(さまざまに自分を表現する) ◇メッセージを伝える ◇印象に残る映像表現 ◇わかりやすく情報を伝える(東京2020スポ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇目次・学びの言葉/松任谷由美 ◇文字が生み出すイメージ ◇発想・構想の手立て① ◇美術館へ行こう 	<ul style="list-style-type: none"> 【上】 ◇浮世絵っておもしろい ◇日本の技と心を受け継いで ◇岡本太郎“芸術はみんなのもの” 【下】 ◇目次・社会に生きる美術の力 ◇わたし自身を見つめて ◇どこまで修復すべきか ◇デザインで地域を豊かに ◇さまざまなアートに触れよう

調査項目	発行者名					
	9 開隆堂		38 光村		116 日文	
	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
キャリア教育との関連を示す記述		<ul style="list-style-type: none"> ◇生活を楽しく 心地よく ◇つながるデザイン ◇つくって体感 みんなで体験（木のぬくもりを感じるスタジアム） ◇明かりと光 ◇これってどう撮るの（表現の広がり） ◇持続可能な未来へ ◇美術と私と社会 ◇美術と共に生きていく 	美術1別冊〔資料〕 ◇色の世界に出会う	ーツピクトグラムのデザイン） ◇季節感のある暮らし ◇みんなのためのデザイン ◇防災のデザイン ◇あかりが空間をつくる ◇形や材料で比べる ◇地域の魅力を表すパッケージ ◇憩いの場をつくる ◇美術の力		

別表 7

調査項目			発行者名					
			9 開隆堂		38 光村		116 日文	
			【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
り 作品例、 扱 われ て いる か。 。 其 の 他 の 資 料、 ペ ー ジ 構 成 等 が ど の よ う に 取 扱 わ れ て い る か。	作品例等の資料の 取扱い	生徒作品の数	◇55点（海外生徒作品1点）	◇142点（海外生徒作品3点）	◇32点（海外生徒作品1点）	◇40点（海外生徒作品3点）	◇69点（海外生徒作品1点）	上◇58点 下◇55点（海外生徒作品2点）
		美術作品の数	◇95点	◇191点	◇157点	◇191点	◇109点	上◇100点 下◇221点
		その他の資料	生徒が活動する様子を撮影した情景写真など		生徒が活動する様子を撮影した情景写真など		生徒が活動する様子を撮影した情景写真など	
	美術史年表	日本の美術作品の数	◇無	◇17点	◇無	◇25点	◇無	◇25点
		海外の美術作品の数	◇無	◇28点	◇無	◇28点	◇無	◇27点
ユニバーサルデザイン化に向けた取り組み			◇ユニバーサルデザインフォントの採用、文章を意味のまとまりごとに改行、中学校以上で習うすべての漢字にルビ記載、図版番号の掲載を行い、特別支援教育への配慮をしている。	◇ユニバーサルデザインフォントの採用、文章を意味のまとまりごとに改行、中学校以上で習うすべての漢字にルビ記載、図版番号の掲載を行い、特別支援教育への配慮をしている。	◇図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたり、小さい文字はユニバーサルデザインフォントで表したりして、境界を明確に区別できるようにし、特別支援教育への配慮をしている。	◇図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたり、小さい文字はユニバーサルデザインフォントで表したりして、境界を明確に区別できるようにし、特別支援教育への配慮をしている。	◇ユニバーサルデザインフォントを採用し行間や背景色のコントラストを付け、作品番号をキャプション部分に掲載するなど特別支援教育への配慮をしている。	◇ユニバーサルデザインフォントを採用し行間や背景色のコントラストを付け、作品番号をキャプション部分に掲載するなど特別支援教育への配慮をしている。
			◇色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、色彩ページの彩度と明度を示す図では、視覚特性を持つ人も認識しやすい黄色を採用している。	◇色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮している。	◇色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、色相環には色の名前を入れている。	◇色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮している。	◇色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮し、色彩ページの彩度と明度を示す図では、視覚特性を持つ人も認識しやすい黄色を採用している。	◇色覚特性の有無に関わらず識別しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮している。
			◇デジタル教科書では、画面の拡大・縮小、音声読み上げ、本文リフロー表示、白黒反転表示、総ルビ表示など特別支援機能に対応している。	◇デジタル教科書では、画面の拡大・縮小、音声読み上げ、本文リフロー表示、白黒反転表示、総ルビ表示など特別支援機能に対応している。	◇デジタル教科書では、音声読み上げ、文字色や背景色の変更表示、総ルビ表示、文字サイズ・書体の変更など特別支援機能に対応している。	◇デジタル教科書では、音声読み上げ、文字色や背景色の変更表示、総ルビ表示、文字サイズ・書体の変更など特別支援機能に対応している。	◇デジタル教科書では、画面の拡大・縮小、音声読み上げ、本文リフロー表示、文字色や背景色の変更表示、総ルビ表示など特別支援機能に対応している。	◇デジタル教科書では、画面の拡大・縮小、音声読み上げ、本文リフロー表示、文字色や背景色の変更表示、総ルビ表示など特別支援機能に対応している。
							◇教科書と別に拡大教科書を用意している。	◇教科書と別に拡大教科書を用意している。

調査項目	発行者名					
	9 開隆堂		38 光村		116 日文	
	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
図版の明瞭さなど	<ul style="list-style-type: none"> ◇印刷インキのぎらつきを抑えながらも発色の鮮やかな用紙と、作品のニュアンスや質感を再現した大判の図版で見やすい。 ◇表紙に作品の質感や筆跡を再現した加工を施し、触って作品の質感が想像できるよう工夫している。 ◇原寸図版を掲載し、小さい図版では気付にくい細かい表現まで鑑賞できるようにすることで、鑑賞の視点を広げたり、自身の表現に生かしたりできるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇印刷インキのぎらつきを抑えながらも発色の鮮やかな用紙と、作品のニュアンスや質感を再現した大判の図版で見やすい。 ◇表紙に作品の質感や筆跡を再現した加工を施し、触って作品の質感が想像できるよう工夫している。 ◇原寸図版を掲載し、小さい図版では気付にくい細かい表現まで鑑賞できるようにすることで、鑑賞の視点を広げたり、自身の表現に生かしたりできるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇図版や文字が鮮明に印刷できる発色のよいコート紙が使われており、本物の色を再現した大判の図版で見やすい。 ◇二次元コードを利用して、高精細画像を表示する「体感ミュージアム」や立体作品や展示空間をいろいろな角度から鑑賞することのできる「360°写真」を採用し、鑑賞体験をより深められるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇図版や文字が鮮明に印刷できる発色のよいコート紙が使われており、本物の色を再現した大判の図版で見やすい。 ◇二次元コードを利用して、高精細画像を表示する「体感ミュージアム」や立体作品や展示空間をいろいろな角度から鑑賞することのできる「360°写真」を採用し、鑑賞体験をより深められるよう工夫している。 ◇「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」において、16ページにわたって風合いのある用紙を使用し、鑑賞活動が深まる様に工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇コート紙とマット紙を使い分けて、美術作品のニュアンスや材質感、色彩の再現が図っている。 ◇表紙と裏表紙を繋げて、1枚の大きな図版として活用できるように工夫している。 ◇原寸図版を掲載し、小さい図版では気付にくい細かい表現まで鑑賞できるようにすることで、鑑賞の視点を広げたり、自身の表現に生かしたりできるよう工夫している。 ◇「屏風、美のしかけ」において、見開きの紙面を折って屏風の構造を再現することで、奥行きなどの見え方がどのように変わるか、鑑賞できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇コート紙とマット紙を使い分けて、美術作品のニュアンスや材質感、色彩の再現が図っている。 ◇表紙と裏表紙を繋げて、1枚の大きな図版として活用できるように工夫している。 ◇原寸図版を掲載し、小さい図版では気付にくい細かい表現まで鑑賞できるようにすることで、鑑賞の視点を広げたり、自身の表現に生かしたりできるよう工夫している。
二次元コードの内容と数	<ul style="list-style-type: none"> ◇計64コンテンツ ◇題材の導入動画11本 ◇用具や技法に関する動画14本 ◇生徒作品9題材分（45点） ◇180°作品写真1点 ◇ワークシート29枚 	<ul style="list-style-type: none"> ◇計112コンテンツ ◇題材の導入動画22本 ◇用具や技法に関する動画12本 ◇生徒作品15題材分（80点） ◇180°作品写真7点 ◇ワークシート56枚 	<ul style="list-style-type: none"> ◇計94コンテンツ ◇書き込みツール＆高精細画像4点 ◇解説動画3本 ◇360°作品写真1点 ◇音声ナビ1本 ◇技法動画44本 ◇作者のインタビュー動画3本 ◇全国の生徒作品16題材分（1年、2・3年計約900点） ◇色の資料5本 ◇作家・作品関連動画14本 ◇学習を支える資料5本 ◇学習に役立つリンク1本 ◇学校生活や社会生活に役立つ資料7本 	<ul style="list-style-type: none"> ◇計87コンテンツ ◇書き込みツール＆高精細画像3点 ◇解説動画10本 ◇360°作品写真7点 ◇音声ナビ4本 ◇作者のインタビュー動画4本 ◇全国の生徒作品12題材分（1年、2・3年計約900点） ◇作家・作品関連動画15本 ◇美術史用語1本 ◇学習を支える資料11本 ◇学習に役立つリンク13本 ◇学校生活や社会生活に役立つ資料7本 	<ul style="list-style-type: none"> ◇計101コンテンツ ◇ガイダンス1本 ◇題材導入動画18本 ◇資料動画10本 ◇技法動画31本 ◇360°作品写真3点 ◇スライド3本 ◇アニメ1本 ◇アプリ2本 ◇外部リンク32本 	<ul style="list-style-type: none"> ◇計81コンテンツ 【上】 ◇ガイダンス1本 ◇題材導入動画17本 ◇資料動画8本 ◇技法動画12本 ◇360°作品写真2点 ◇スライド5本 ◇アプリ1本 ◇外部リンク1本 【下】 ◇ガイダンス1本 ◇題材導入動画15本 ◇資料動画7本 ◇技法動画1本 ◇インタビュー4本 ◇スライド3本 ◇ワークシート1枚 ◇外部リンク2本